



オランダ・アカデミー賞最優秀作品賞・最優秀女優賞受賞作品

# ネコの ミヌース

MINOES

これは世界で一番シアワセな猫のお話です

原作 アニー・M・G・シュミット「ネコのミヌース」(徳間書店刊) 監督 フィンセント・バル  
カリス・ファン・ハウテン テオ・マーセン サラ・バンニール

製作総指揮 ミヒール・デ・ローイ/ヤン・ルルフス 製作 バーニー・ボス 脚本 タマラ・ボス/バーニー・ボス/フィンセント・バル 撮影 ウォルター・ヴァン・デン・エンデ 録音 マルク・グリネ  
編集 ベーター・アルデルリーステン 美術 フィンセント・デ・バーテル 音楽 ベーター・フェルメールス 衣裳 ヘルナデッテ・コルステン 製作 ボス・プロス・フィルムTV・プロダクションズ  
配給 「ネコのミヌース」上映委員会 (IMAGICAエンタテインメント/オンリー・ハーツ/ビーディティ)

© CV MINOES 2001 <http://www.nekonominoes.com/>





# INTRODUCTION

オランダで空前の大ヒットを記録した『ネコのミヌース』は、“本物の女王を超える女王”と呼ばれる児童文学者アニー・M・G・シュミットの同名小説の映画化。「オランダの日常を知り尽くしたシュミットの作品には、生き生きとしたオランダがある。だからこそオランダ中が彼女の作品を読む」と評されるシュミット女史の作品の数々は、多くの受賞歴や賞賛を受け、ヨーロッパを中心にひろい年代のファン層をもっている。『ネコのミヌース』も、最も名誉ある児童文学賞“銀の石筆賞”を受賞した作品だ。

オランダ語で小さな猫つまり日本語の“タマ”のような意味の“ミヌース”という名のネコが人間の女の子に変身してしまう。この破天荒な物語に惚れ込んだフィンセント・バル監督とプロデューサーのバーニー・ボスは、共に脚色を手掛け、この上なくキュートな逸品をつくり出した。キャストには、カリス・ファン・ハウテンはじめ一流演技派俳優がそろい、さらにネコまでもが演技達人な魅力を発揮する。また、撮影は『カストロート』『八日目』『ノー・マンズ・ランド』等の達人ウォルター・ヴァン・デン・エンデが、ネコ視点の世界やファンタジー調の小粒な映像を提供。そして、日本語吹き替え版では、ミヌースを室井滋、記者ティベを利重剛が担当。意気のあったかけ合いは、オリジナルのエスプリを十分に堪能させてくれる。

『ネコのミヌース』は、本家で公開後100万人の動員記録をつくり、オランダのアカデミー賞に相当するオランダ映画祭・最優秀作品賞および最優秀女優賞を受賞。70カ所を超える国際映画祭で上映され、数多くの作品賞・女優賞に輝き、今日も世界のどこかで上映されている。みんなにさわやかな“シアワセ”をつれてくる大ロングラン作品なのである。

オランダ・アカデミー賞最優秀作品賞・最優秀女優賞受賞作品  
モントリオール国際子供映画祭・最優秀作品賞  
シカゴ国際子供映画祭・子供審査員賞・最優秀国際映画部門賞

## ネコのミヌース MINOOS これは世界で一番猫のお話です

彼女の名はミヌース。オシャレでキチンとした女の子だけどちょっとどこかヘン。彼女の出現で、新聞記者のティベも、小さなピビも大家さんもお魚屋さんも社長さんも市長さんも、町中みんなが大騒ぎ。さて小さな町に起きた大事件とは…!



### STORY

そのお嬢さんの名前はミヌース。ひっこみじんの新聞記者ティベの前に現れた彼女はオシャレで礼儀正しいけど、ちょっとヘン。木に登って降りられなくなったり、キスの代わりに鼻をスリスリしたり。お魚屋さんが大スキで、町中のコトを何でもよく知っている。そう、ミヌースは、ある日どつぜん、ネコから人間になっちゃった女の子。雨の夜、ティベの部屋に窓からやって来たミヌースは、ティベの住み込み秘書となり、町中のネコ・ネットワークを駆使して、ティベに極秘ネタを提供、かくしてティベはスクープ記事で一躍、注目のマトに。ミヌースがやって来るまでティベの一番の仲良かった大家さんの娘ピビは、ちょっとだけご機嫌ナナメ。けれど、やがてミヌースの秘密を知って、すっかりミヌースと意気投合する。

“環境にやさしい芳香剤”の町一番の大きな工場を経営するエレメートさんは、町の経済功労者で、住民の評判も特上の、町の名士。動物友の会から表彰を受けることも決まった。ところが、本当のエレメートさんには誰にも言えない秘密が…。そして事件が起こった。魚屋さんのハリーのワゴン車が、あて逃げ事故に巻き込まれたのだ。「牧師夫人が見てたのよ!悪いのはエレメートさんなの!」うたえるミヌースを信じて記事を書いたティベは、はたしてクビ。実のところ、エレメートさんにはウラの素顔があった。自宅に入り込んだネコを殴り、生まれたばかりの仔猫たちをゴミ箱に棄てる。本当は動物や植物なんて大キライなんだ——。怒り心頭に達したミヌースたちはネコ会議をひらき、相談する。それはもう町中のネコたちが、エレメートさんをやっつけるために立ち上がった…!

### CAST

- カリス・ファン・ハウテン…… ミヌース
- テオ・マーセン…… ティベ (新聞記者)
- サラ・バンニール…… ピビ (ティベが住む下宿の大家さんの一人娘)
- ピエール・ボクマ…… エレメートさん (大工場の経営者)
- マリサ・ヴァン・エイレ…… エレメートさんの奥さん
- オルガ・ザウデルフック…… ファン・ダム夫人 (ティベの大家さん・ピビのママ)
- ケース・フルスト…… 大家さんの亭主 (ピビのパパ)
- シャーク・ヴォンテルセ…… 市長
- ハンス・ケスティング…… ハリー (魚屋さん)



- 原作○アニー・M・G・シュミット  
『ネコのミヌース』(徳間書店刊)
- 監督○フィンセント・バル  
製作総指揮○ミヒール・デ・ロイ/ヤン・ルルス  
製作○バーニー・ボス  
脚本○タマラ・ボス/バーニー・ボス/フィンセント・バル  
撮影○ウォルター・ヴァン・デン・エンデ  
録音○マルク・グリネ  
編集○ベーター・アルデルリーステン  
美術○フィンセント・デ・バーテル  
音楽○ベーター・フェルメーリス  
衣裳○ベルナデット・コルステン  
製作○ボス・フロス・フィルムTV・プロダクションズ  
配給○「ネコのミヌース」上映委員会  
IMAGICAエンタテインメント  
オンライン・ハーツ  
ピーティディ

宣伝協力○シネマ・クロッキオ3RD  
2001年/オランダ/ビスタサイズ(1:1.85)/83分/ドルビーデジタル ©CV MINGOS 2001 <http://www.nekonominos.com/>

# 2004年3月、ポレポレ東中野にて、ハッピー春休み、ロードショー

特別鑑賞券 ¥1,300円(税込) 絶賛発売中!!

劇場窓口、都内各プレイガイド、チケットぴあ (Pコード:472-617◆ファミリーマート、セブンイレブン、サンクスでも取扱中)にて

劇場窓口でお買い求めのお客様のみプレゼント特典あり

◎当日:大人 ¥1,500 / 中高シニア ¥1,000 / 小学生 ¥700 / 親子ペア料金 (大人 ¥1,300 + 小学生 ¥700) ¥2,000

## ポレポレ東中野

JR東中野駅西口北側出口より徒歩1分・駅ホーム北側正面  
地下鉄大江戸線A1出口より徒歩1分 TEL 03-3371-0088

日本語字幕版・吹き替え版との構成プログラムでDLP  
上映でのロードショーとなります

